

本ソフトウェアは技術的制限手段を違法に回避するものではありません。

このソフトウェアは、技術的制限手段が施された著作物のリッピング等、改正不正競争防止法で定められた違法行為に抵触するものではありません。

AsWindowsExit.exe (agency SAKAE ウインドウズ イグジット 以下、アプリ) はフリーウェア(無料)です。

著作権は放棄していません。 agency SAKAE が著作権を保有しています。

使用したことによって生じた不具合には一切責任を負いません。 **自己責任で使用してください。**

私が使っていておかしいところは気づいたら直していますが、隠れているバグもあると思います。

バグは直すようにしたいと思っていますが、技量不足で直せないものもあるかと思っています。 ご了承ください。

動作不具合は件名を **AsWindowsExit Ver 2.39.10** にして次のメールアドレスに送ってください。

agency.sakae@gmail.com

私の動作環境でも不具合が再現できて、修正できる内容であれば改訂版に差し替えます。

アプリの画像とマニュアルのフォーム画像が異なる場合があります。 書かれている内容も最新版アプリと異なることがあります。

元は WindowsExit.exe だったのを 一般的すぎるので先頭に As (agency SAKAE)を付けました。

そのためこのマニュアルやフォーム左上のタイトルに As が付いていないのがあるかもです。

マニュアルで使っている **¥** (円マーク) がフォントによって \ (バックスラッシュ) になっていることがあります。

インストーラーは有りません。 AsWindowsExit.exe を直接(またはショートカットで)起動してください。

インストールをしていないのでアンインストールも不要です。 アプリをダウンロードしたフォルダー・ファイルを削除するだけです。

『 コントロールパネル → プログラムと機能 → プログラムのアンインストールまたは変更 』の一覧にも載りません。

レジストリーは使っていませんが My.Setting という命令は使っています。

環境変数 %AppData% の場所に agency_SAKAE のフォルダーが作られて、その中にサブフォルダーが作られる場合があります。

【例】 C:\Users\sakae\AppData\Roaming\agency_SAKAE\AsWindowsExit.exe_Url_ **i45ix4004uvcwn2utlgeip4taw5lihkc**

この部分は変わります。

動作確認は Windows 10 Pro で行っていますが環境によっては動かないこともあると思います。

Windows 10 Home / 11 では動作確認をしていません。

アプリは Microsoft Visual Studio 2019 , 2022 の Visual Basic で作成しました。

フォーム、ボタンなど全て英語になってます。日本語にしたかったのですが 2バイト文字 では文字化けをすることがあるので英語(1バイト文字)にしました。

日本語から英語にはインターネットの翻訳サイトを使いました。 おかしな英語になっているかも知れませんがご勘弁ください。

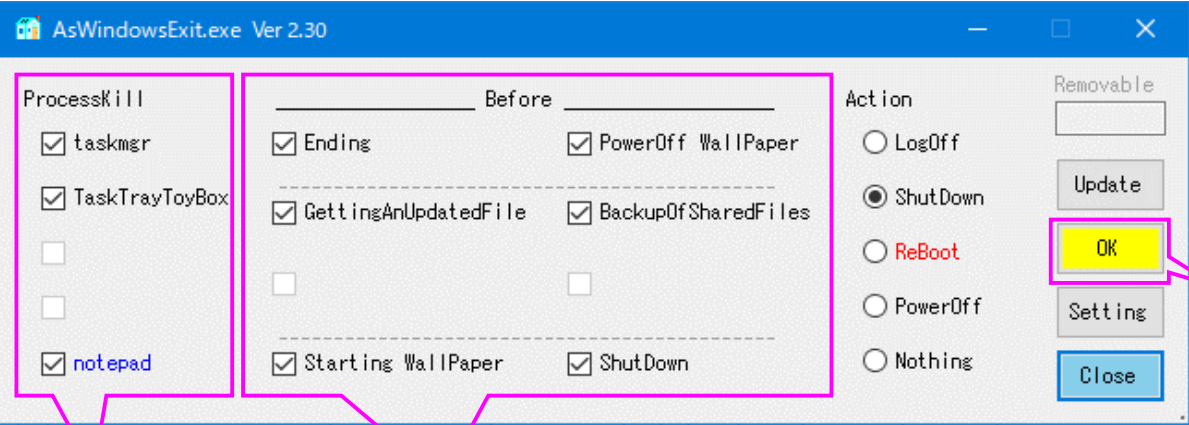
このアプリで言う コンピューター名 は 正確には ホスト名 (`Dns.GetHostName`) です。

設定値の `Expot` , `Inport` で使う csv ファイル内容の例はメモ帳(`notepad`)で表示してます。

`Excel` がインストールされていると `Excel` を使うような動作になります。

`Excel` は必須ではありません。 有れば便利という程度です。

AsWindowsExit.exe（agency SAKAE ウィンドウズ イグジット 以下、アプリ）の起動画面は次の通りです。



終了動作は次の 5 つから選べます。

- LogOff
- ShutDown
- ReBoot
- PowerOff
- Verification

動作確認用です。
フォームを表示したままで止まります。

1.9Sec

OK ボタンをクリックをすると 3 秒のカウントダウンが始まります。

OK をクリックした後に消したい終了動作の前に、実行したいプログラムを 8 個登録できます。
プロセスを 5 個指定できます。登録は Setting ボタンをクリックしたら表示されるフォームから行います。
Close (閉じる)、End (終了) プログラムの指定には次の 6 種類があり、末尾の **N** に 0 から 7 が入ります。

ではなく Kill です。ブッチ
っと消しますので保存されてない
ファイルなどは壊れる可能性
もあります。

権限が無いため消せないプロ
セスもあります。この場合はエ
ラーになります。

プロセスと実行ファイル名は
異なりますので、プロセスが探
しやすいように別アプリケーションの

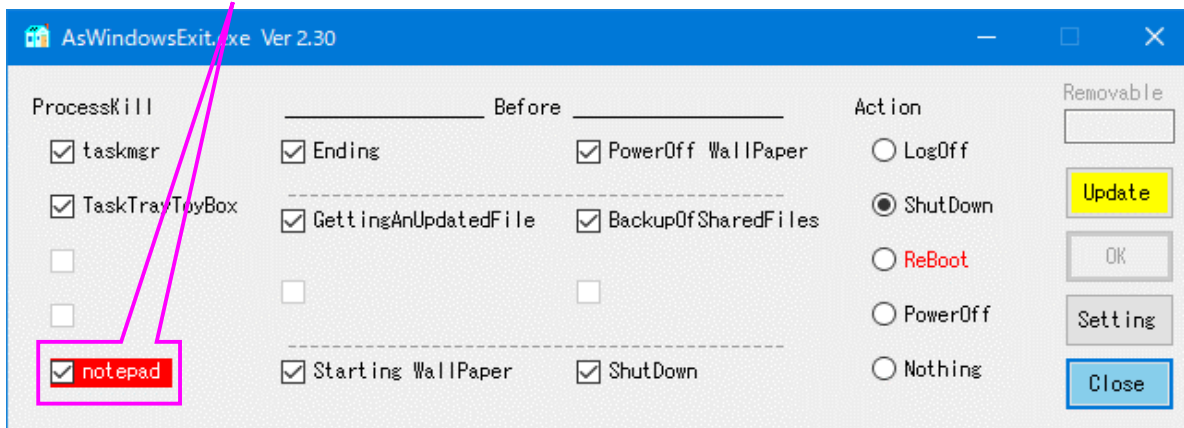
AsProcessGet.exe
を同梱してます。

項目	内容	設定例
RunFlag N	実行するかどうか。これはフォームから指定できます。	True / False
RunName N	フォームで表示する名前。	Easy copy
RunPath N	プログラムのパス名。	D:\S15be_toteBox\Excel_Exe_Bat
RunFile N	プログラムのファイル名。	EasyBackup.bat
RunParameter N	プログラム実行時に付加するパラメーター。	/OverWrite
CheckPath N	プログラム実行前にチェックしたいパス名。	G:\S15be_DataBox

0 から順次実行し、各プログラムが終了するまで待ちます。
途中で止まった場合は、続くプログラムは実行されず、終了動作も行なえません。

チェックボックス・ラジオボタンの状態は Close ボタンをクリックしたときに保存します。

Kill で消されて困るプロセスが有ると OK をクリックできません。

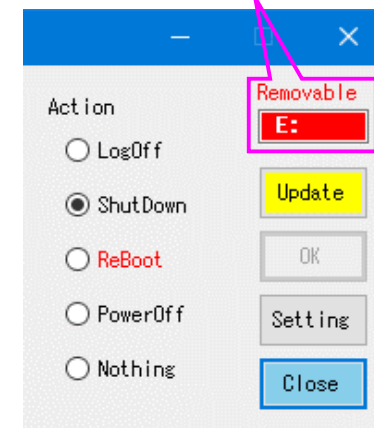


プロセス名の後ろに半角スペースに続けて Invalid を付けるとプロセスが起動していれば OK ボタンがクリックできなくなります。

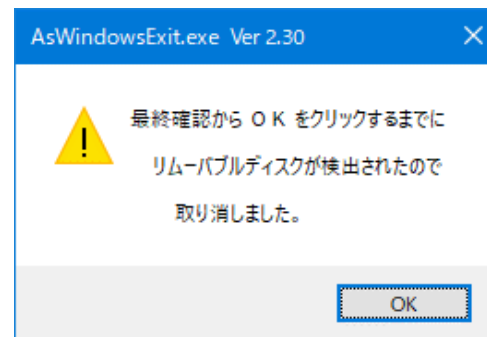
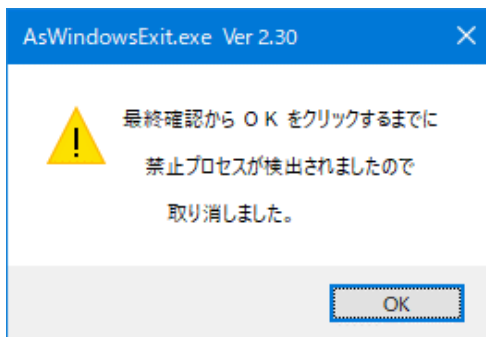
プロセスを終了させてください。

Invalid が付けられるのは 1か所だけです。複数付けた場合は最後に指定されたプロセスになります。

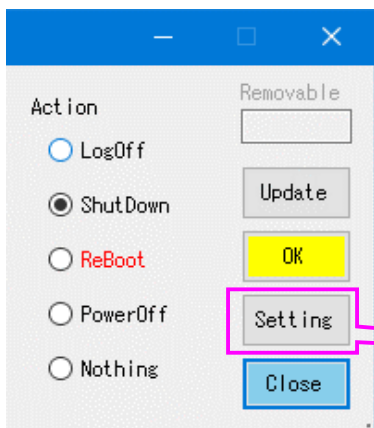
利用可能なリムーバブルドライブがあるときも同様です。



OK ボタンをクリックしてから念のため 禁止プロセス と リムーバブルディスク を再チェックしています。
検出されると下のダイアログが表示されます。

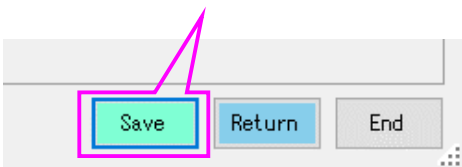


実行するファイル名やパス名などの設定は Setting で行ってください。

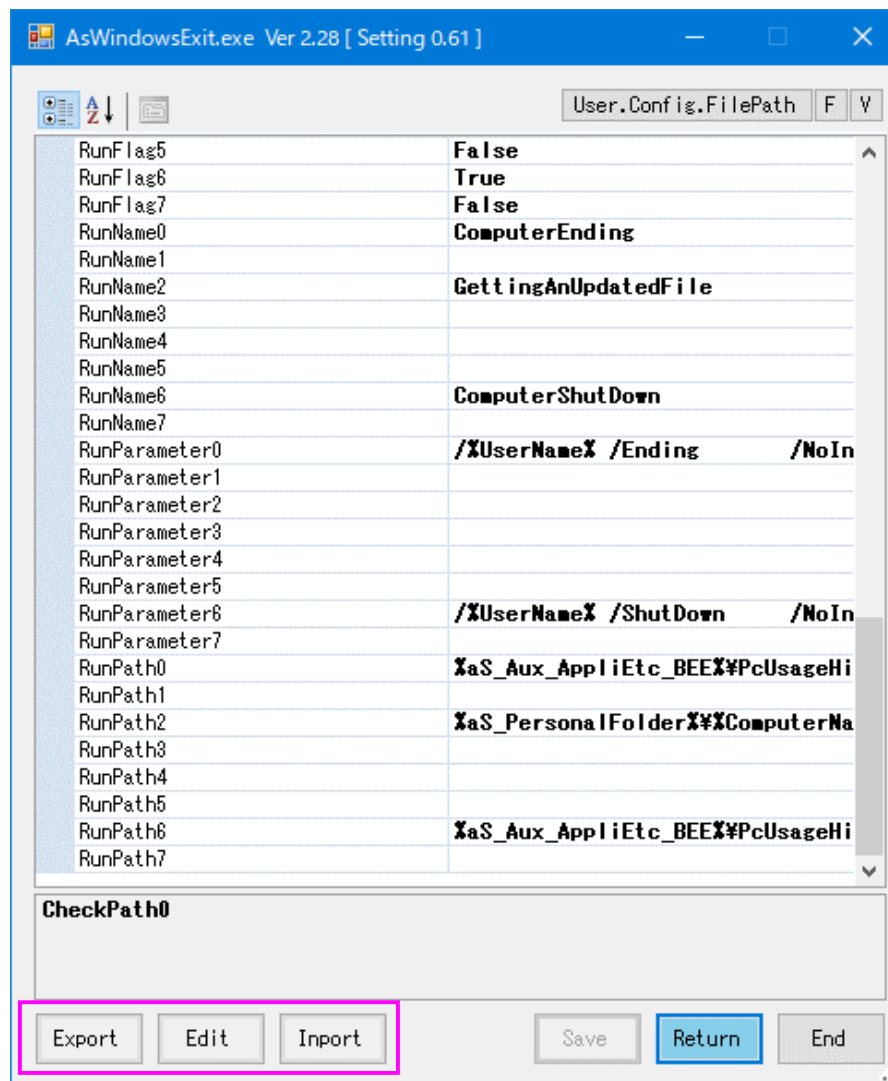
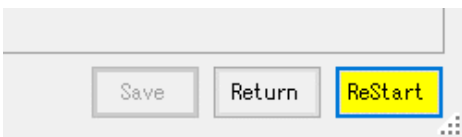


現時点で設定は 79項目あります。

変更をしたら Save をクリックしてください。



その後 ReStart をクリックしてください。



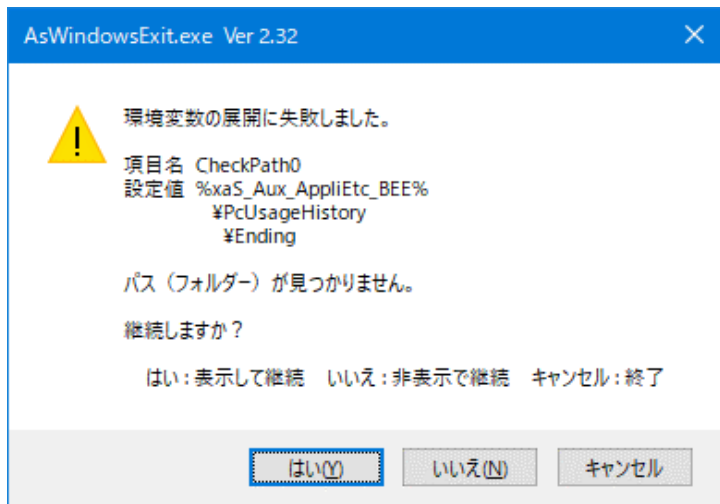
次ページで説明します。

Setting のエラーについて。

設定値 のパスに環境変数を指定することができます。 ファイル名。パラメータには環境変数は使えません。

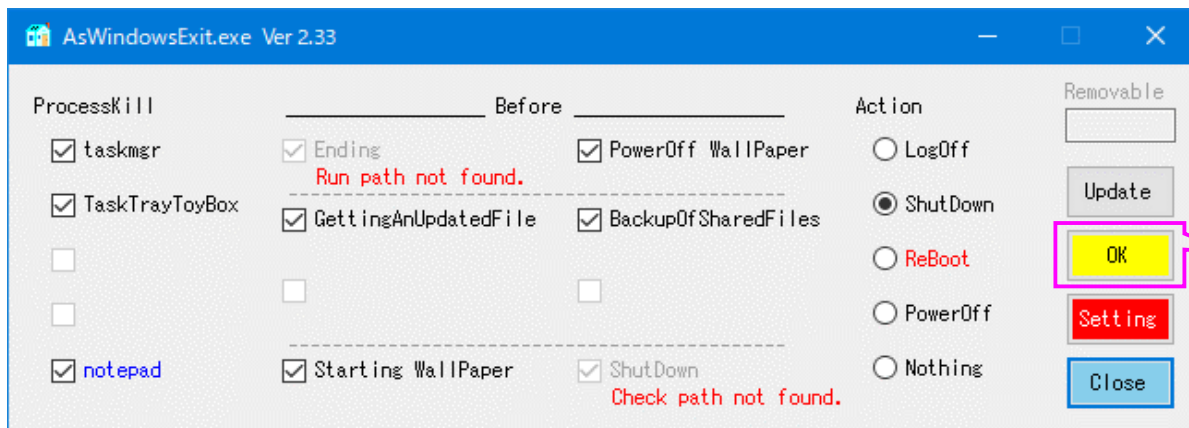
環境変数を展開するときにエラーが発生すると次のようなダイアログが表示されます。

デスクトップにもエラーログが出力されますので参考にして設定値を修正してください。



エラーがあった場合は AutoUpdate は False になります。

エラーが無くなるまで True にできません。

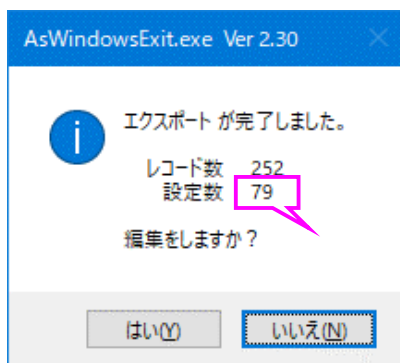


OK をクリックすると、エラーの無い処理だけ実行します。

Export , Edit , Inport ボタンの説明。



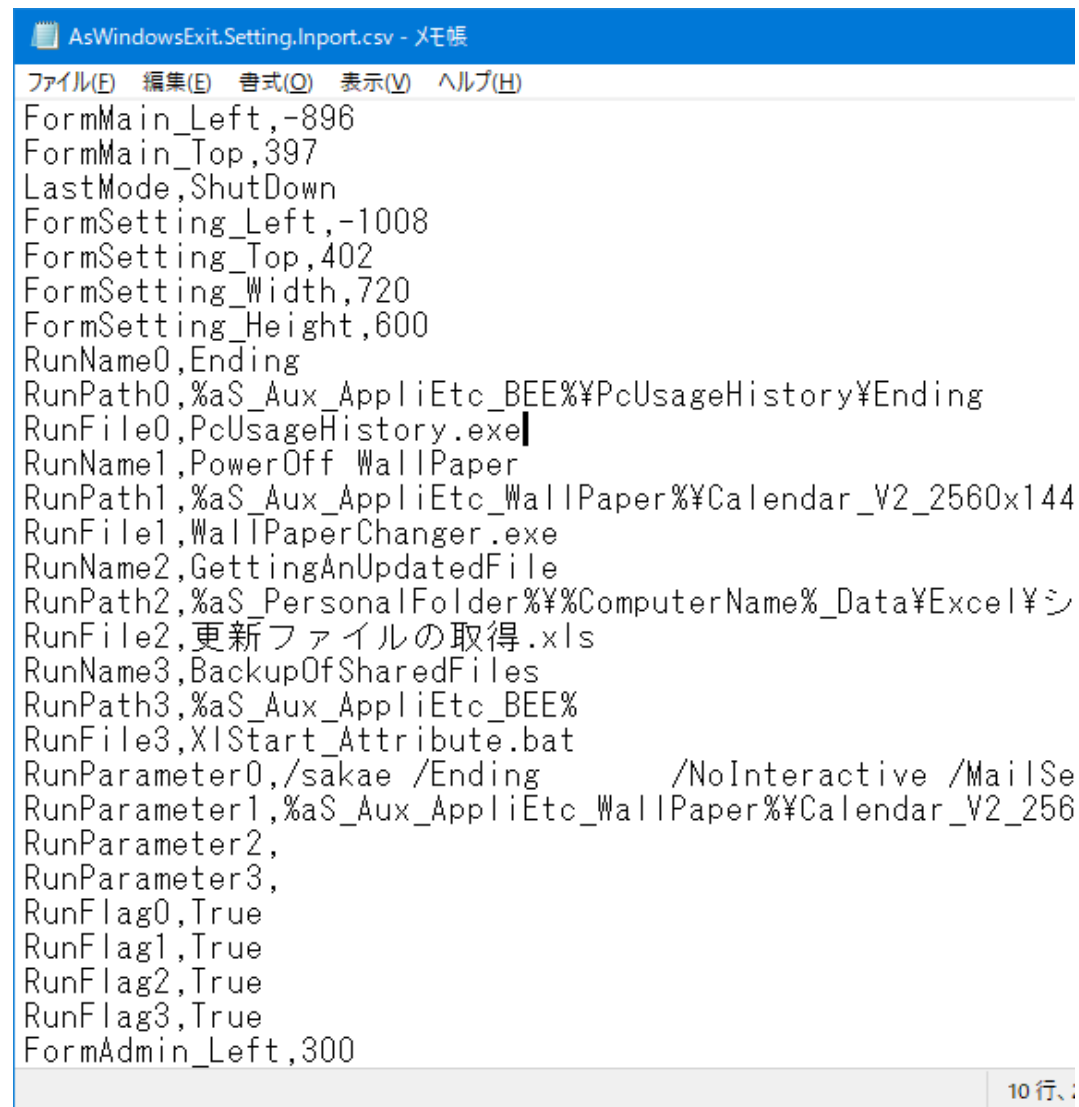
Export 現在の設定値を次の csv ファイルに出力します。
AsWindowsExit.Setting.Export.csv
正常に出力できると下のダイアログが表示されます。



Edit 編集するために設定ファイルを開きます。

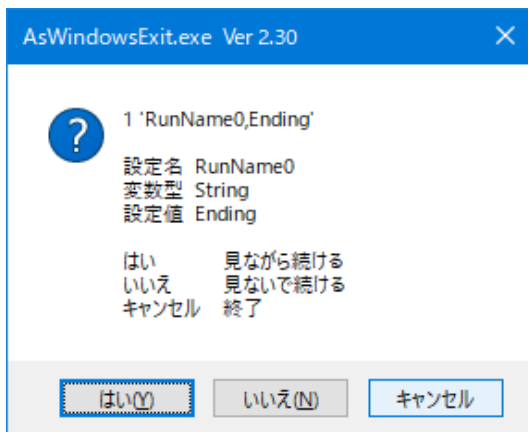
Inport 次の csv ファイルを読み込みます。
AsWindowsExit.Setting.Inport.csv
次のページでもう少し説明します。

Inport ファイルの例



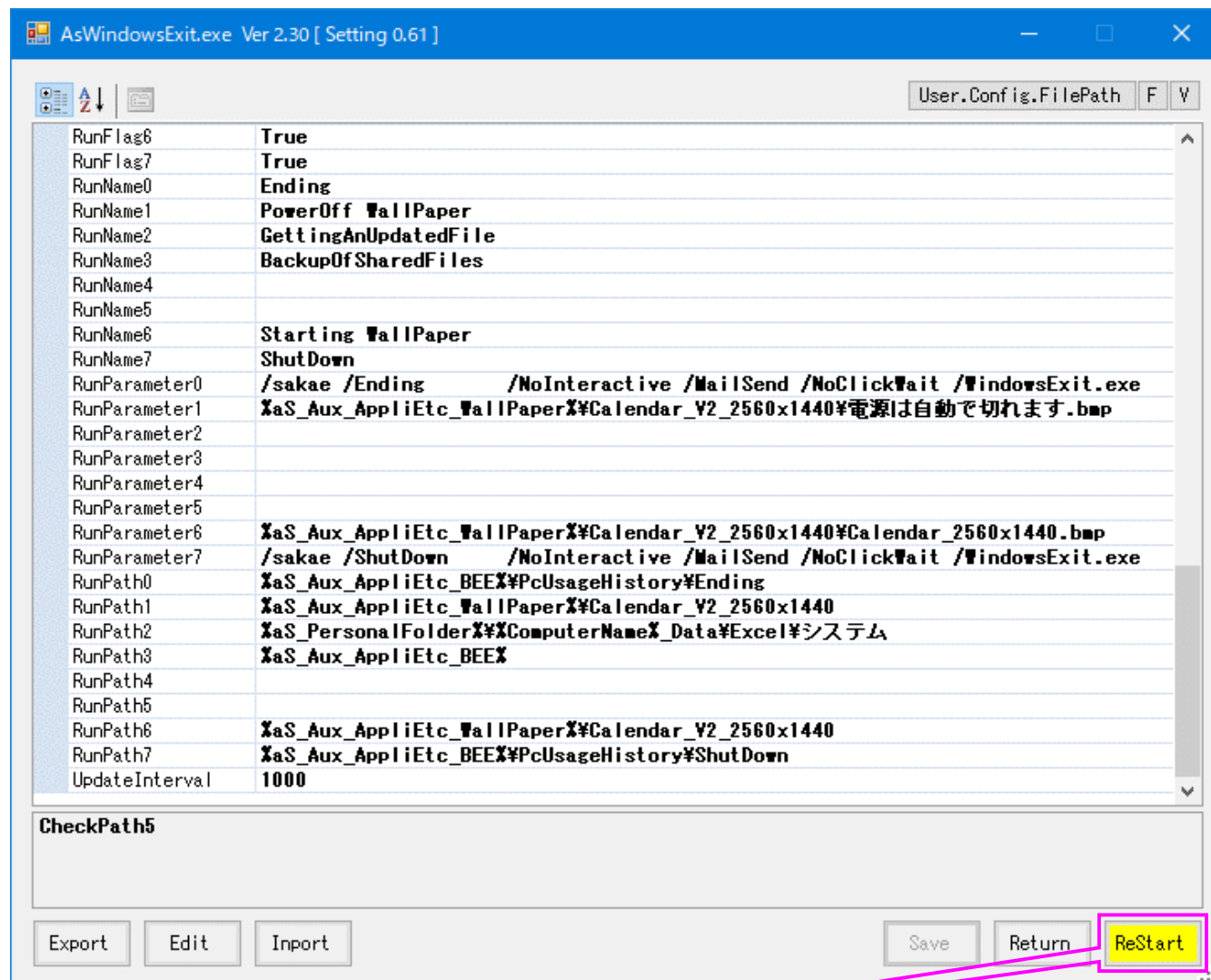
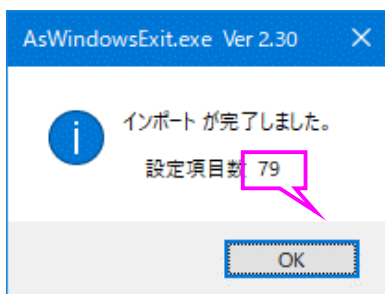
Inport ボタンの説明。

Inport ボタンをクリックすると次のダイアログが表示されます。



一つずつ見るのなら はい をクリックします。
見なくても良いのなら いいえ をクリックします。

Inport が終わると次のダイアログが表示されます。



データ数に誤りが無ければ ReStart ボタンをクリックしてください。

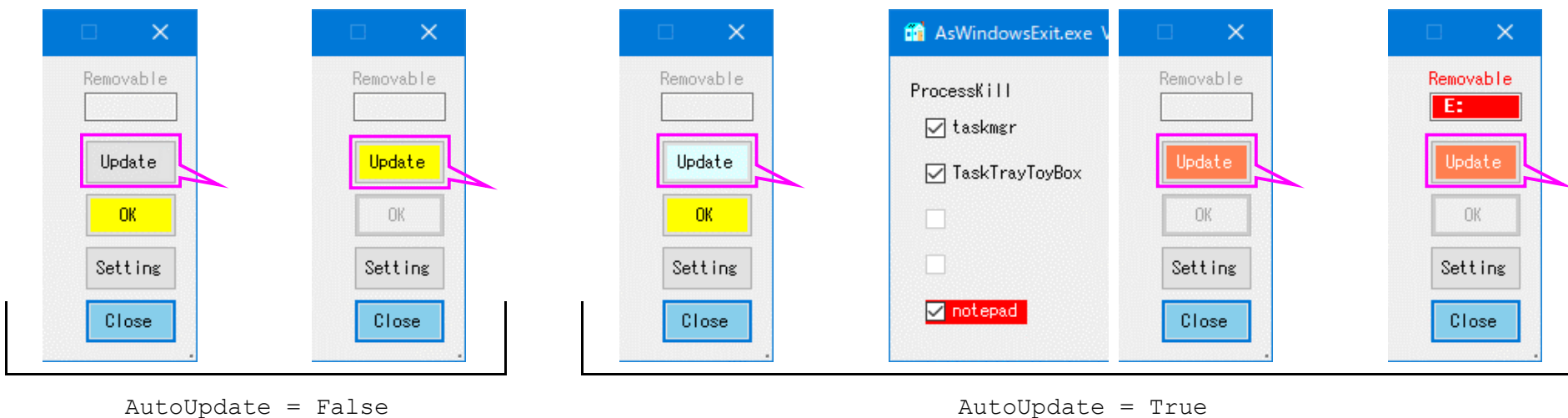
自動アップデート実行 について。

Setting で AutoUpdate に True を設定すると定期的に Update を実行します。既定値は True です。

Update では 禁止プロセス と リムーバブルドライブ をチェックしています。

両方とも問題なければ Update は False にしてチェックを終了します。

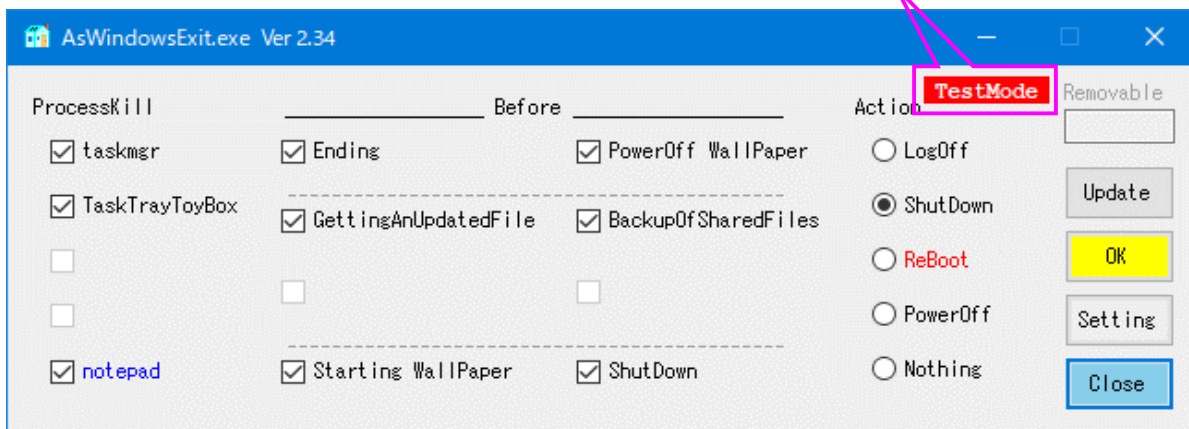
Ctrl キーを押しながら Update ボタンをクリックすると AutoUpdate の True と False を反転できます。
実行する間隔は UpdateInterval に mSec 単位で指定できます。既定値は 2,000 mSecです。



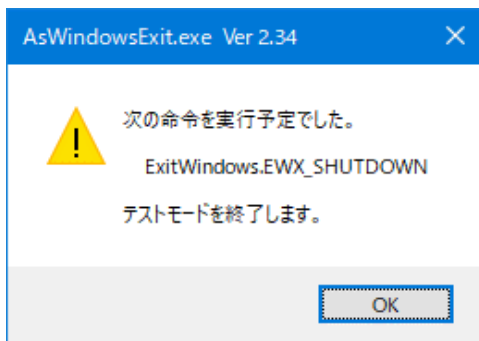
Setting で設定されたパス(フォルダー)が見つからなかった場合は AutoUpdate は False になります。

テストモード について。

起動パラメータに /TestMode をつけるとテストモードになります。



テストモードでは実際の Action をする手前で次のダイアログを表示し OK をクリックするとアプリが終了します。



使用できる起動パラメータ。

/F , /FormPositionReset	すべてのフォーム表示位置をリセットします。 原点から 右 300ドット、下 300ドットの位置をフォーム左上にします。
/? , /H , /Help	簡易説明を表示します。
/TestMode	実際の Action をする手前で終了します。
/FormSettingShow	設定値がおかしくてメインフォームが表示されなくなったときの緊急・一時的な回避ができるか Setting フォームを表示します。 あくまで緊急避難的なものです。

関連ファイル

\AsWindowsExit Ver 2.39.06	フォルダー 名前は何でも良い。		
—AsWindowsExit.exe	実行ファイル		
—AsWindowsExit_Manual.pdf	操作説明書（このファイル）		
—AsWindowsExit.exe.config	設定ファイル。		
—AsWindowsExit.Setting.Export.csv	設定をアプリから csv に Export したファイル。	Setting のフォームで修正しにくいのなら、他のソフトで修正してください。	
—AsWindowsExit.Setting.Inport.csv	設定をアプリに csv で Inport するファイル。		
—AsWindowsExit.Setting.Inport_As.csv	同上の実際の使用例。		
—AsWindowsExit.Setting.Excel.xls	設定を編集してアプリの Inport ファイルを作成する。	Excel がインストールされているのなら、これを使うのが便利だと思います。	
—AsProcessGet.exe	現在実行中の プロセス を一覧表示する実行ファイル。		
—AsProcessGet_Manual.pdf	同上の操作説明書。		
赤文字のファイルは Setting → Export をしたときに作成されます。			
—\AsProcessGet Vwe 0.79.01	フォルダー 名前は何でも良い。		
—AsProcessGet.exe	現在実行中の プロセス を一覧表示する実行ファイル。		
—AsProcessGet_Manual.pdf	同上の操作説明書。		

変更履歴(主な項目)。

作成開始	Ver 0.00	2015-11-09	Mon		
初回掲載	Ver 2.28	2024-02-19	Mon		
	Ver 2.29	2024-06-01	Sat	AutoUpdate の表示更新を見直して再追加。	修正
	Ver 2.30	2024-06-02	Sun	UpdateInterval の設定を追加。	新規
	Ver 2.34	2024-06-03	Mon	/TestMode を追加。	新規
第2回掲載	Ver 2.35	2024-06-03	Mon	Nothing のバグフィックス。	修正
	Ver 2.37	2024-06-06	Thu	OK クリック後 Close を Abort に変更。	変更
最新版	Ver 2.39	2024-06-30	Sun	パス名展開の致命的バグを修正。	修正

――― 以上 ―――